

平成31年度学校自己評価システムシート（県立大宮光陵高等学校）

目指す学校像	校訓「自立、協調、創造」の理念のもと、確かな学力と専門的な能力を身につけ、情操豊かで、自主的・創造的な精神を持つ人間を育てる。
--------	---

重点目標	<ol style="list-style-type: none"> 組織的な教科指導のもとに生徒の自主的な学習姿勢を育て、確かな学力と専門的な能力の向上を図る。 計画的・系統的な進路指導を推進し、生徒一人一人の進路希望の実現を図る。 芸術活動、国際交流事業等を充実させ、豊かな情操、主体性、協調性、創造性を育む。 基本的生活習慣を確立させ、特別活動・部活動などを通して自主的・自律的な精神を養う。 家庭、地域等との連携を強化し、信頼される学校づくりを推進する。
------	--

達成度	A	ほぼ達成（8割以上）
	B	概ね達成（6割以上）
	C	変化の兆し（4割以上）
	D	不十分（4割未満）

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	3名
	生徒	8名
	事務局（教職員）	12名

※重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目（年度達成目標を意味する。）は複数設定可。※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学校自己評価						
年度目標			年度評価（2月5日現在）			
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	彥 次年度への課題と改善策
1	（現状）授業アンケートを実施し、授業改善に生かしている。シラバスを生かし計画的・自発的学習を促している。協調学習を含めた授業研究を行っている。自習室を設置し、自主的な学習を促している。 （課題）生徒の家庭での学習時間を増やす。協調学習やアクティブラーニング、新指導要領、「大学入学共通テスト」の研究を進める。	指導力を向上し、生徒の自主的な学習習慣を向上させる。	①授業アンケートを実施し、授業改善に生かすよう各教科で検討する。 ②シラバスの効果的活用により、生徒の計画的・自主的学習を促す。 ③生徒の家庭での学習習慣を促すような目標や課題等を設定する。 ④協調学習やアクティブラーニング、新学習指導要領に基づいた新教育課程、大学入学共通テスト、e-Portfolio等について、校外の研修会等も活用し、研究を深め情報を共有する。 ⑤自習室の設置を継続し、空調や利用時間等の環境を整備し、利用を呼びかけ、自主学習を促す。	①アンケートでの生徒・保護者の授業への満足度は上昇したか。 ②③生徒の毎日の学習習慣は定着したか。家庭学習時間は増えたか。 ④各教科で研究・研修を実施し、教科指導に生かしたか。また、新教育課程の原案を作成したか。 ⑤自習室の利用者は増加したか。	新教育課程について検討を重ねた。 ①授業アンケートの満足度は86%で上昇した。②③小テストや課題提出など短期的な学習課題を組み込み計画的な学習を促した。④時間割内の教科会で新教育課程について研修を行った。⑤朝、放課後、長期休業中に自習室を設けた。夏季休業中は1年生も含め特に利用者が多かった。	B
2	（現状）3年間を見通した進路指導計画表に基づき進路指導を行っている。スタディーサポートや模試を実施し、学年ごとに進路学習、説明会、講演会 進路面談を実施して進路意識を高めている。芸術科も含め生徒の進路希望に合わせた補講を開講している。 （課題）スタディーサポートや模試試験の検証を継続・実施し進路指導に生かす。各学年の進路学習・行事を見直し、効果的な補講について検討する。保護者へ最新の入試情報を周知・徹底する有益な方法を検討する。	3年間を見通した計画的な進路指導のもとに早期から進路意識を醸成する。	①学年ごとに進路指導計画表を作成する。 ②3年間継続し実施しているスタディーサポートや模試試験を有効活用し、進路意識を高めさせ、結果を検証して情報を生徒に提供する。 ③実力養成のための3年生の進学補講、基礎力向上のための1・2年生の進学補講を充実させ、それぞれ効果的な実施を各教科に呼びかける。 ④各種進路行事については事前・事後の指導を含めて充実させ、「進路の手引き」を軸とした指導を徹底し、特に1・2年生の進路意識啓発の取組を強化する。 ⑤各学年保護者会、PTA主催の進路カフェ・進路説明会で、より具体的な情報を提供し、保護者の進路に対する興味・関心を高める。	①3年間を見通した進路指導計画表を作成したか。 ②スタディーサポート・模試の結果や推移を分析・活用できたか。模試の申込数は増加したか。 ③進学補講に対する生徒の満足度は上昇したか。 ④生徒の進路行事への取組は意欲的で満足度は高いか。1・2年生の進路希望は明確になったか。 ⑤生徒・保護者の進路指導・情報提供に対する満足度は上昇したか。	進路指導計画表に基づき共通テストを見据えた進路指導を行った。 ①学年ごとに進路指導計画表を作成した。②スタディーサポート・模試の結果を進路指導にいかした。③特色ある補講を62講座開講した。④⑤生徒にはLHRや総合的な探究の時間を活用し大学共通テストについての説明をした。保護者にも保護者会で同様な説明した。各種説明会の参加者も多かった。AO/推薦入試の利用者が急増したがスムーズに手続きは進んだ。	B
3	（現状）芸術科の活動では、校内外の発表会、展覧会等で、全国レベルの実績を残している。オーストラリア姉妹校訪問、書道科台湾研修、美術科ヨーロッパ研修を成功させ、帰国報告会を実施している。 （課題）芸術科や国際教育などホームページ（HP）等のアピールの継続が必要である。国際理解委員会を活性化させるなど生徒が関わる場面をさらに積極的に設ける。	4学科1コースの良さを活かし、芸術教育、国際理解教育をさらに充実させる。	①「Koryo Arts Link」事業を継続すると共に、活動を広くHPなどでアピールする。 ②校内外の発表・展覧会等を充実させると共に、その成果を広くHPなどでアピールする。 ③オーストラリア姉妹校の来校を全校で迎え、書道科台湾研修、音楽科ヨーロッパ研修を成功させ、その成果を全校生徒に報告し共有させる。 ④生徒の国際理解委員会に、国際交流に関する行事に関わらせる。 ⑤上記の活動の中に、生徒の主体性を育むために、全校生徒が関わる場面を積極的に設ける。	①HPを随時更新し事業の実施状況や活動の様子をアピールしたか。 ②校内外の発表・展覧会等の成果が上がり、HPに掲載できたか。 ③海外研修・芸術科の研修を実施し、全校で成果を共有できたか。 ④国際理解委員会が国際交流に関する行事に関わったか。 ⑤各活動において全校生徒の関われる機会を持てたか。	「Koryo Arts Link」事業を継続し、芸術教育、国際理解教育をさらに充実させた。 ①②今年度も全国レベルの実績を上げた。芸術3科が共同して「大宮光陵芸術フェスタ『2020へのかけ橋』」を行った。③④⑤姉妹校訪問、書道科台湾研修を無事終えた。姉妹校から2名とEILから1名の留学生を迎えた。EILからの1名は長期滞在し授業や部活動に参加している。音楽科のヨーロッパ研修も事前学習を実施している。	A
4	（現状）基本的生活習慣を確立させる指導、交通安全指導、マナー向上の指導を年間を通して継続的に実施。学校生活アンケートの実施によりいじめ実態等の把握に努めている。外部機関と連携した相談体制を整えている。 （課題）バス乗車のマナーは改善されつつあるが、自転車運転マナーについては、乗り方を含め全校生徒へ注意を促し、さらに交通安全に対する意識を啓発する必要がある。行事等を通して自己肯定感を持たせ、社会性を身につけさせる必要がある。	規範意識の醸成と主体性を育む生徒指導を推進する。	①整容指導、遅刻指導、登校指導、バス乗車指導を継続する。 ②自転車事故防止のための交通安全指導を徹底する。 ③光陵祭、スポーツ大会、予餞会などの学校行事を生徒に主体的に運営させ、生徒が他者に対する適切な配慮や自己肯定感を持てるような場面を設定するよう工夫する。 ④部活動（特に運動部）の加入増を図るために部活動見学の機会を設け、活動状況を積極的に外部に発信する。 ⑤生徒に関わる情報交換を密にし、問題に対し早期対応できるよう教育相談体制を充実させ、外部機関との連携の強化を図る。	①②各指導を実施したか。近隣からの苦情は減少したか。 ③アンケートにおける生徒・保護者の満足度は上昇したか。 ④部活動加入率は上昇したか。部活動見学に参加した中学生は増加したか。活動の状況や大会などの結果をHPに更新したか。 ⑤生徒面談を実施したか。アンケートにおける生徒・保護者の満足度は上昇したか。	基本的生活習慣を確立させ、自主的・自律的な活動が可能な機会を設けた。①②整容指導、遅刻指導、登校指導、バス乗車指導等を行った。③「生徒自身による『私たちのネット利用ルール』づくり」活動推進校として取り組んだ。④部活動の加入率に変化はない。HPの更新は行えた。⑤校内の情報交換を密にし、外部機関とも連携して適切に対応した。教育相談研修会を実施しスクールソーシャルワーカーについて理解を深めた。アンケート結果は改善した。	A
5	（現状）保護者の学校に対する満足度は高い。交流事業も関係者から好評を得ている。メール配信システムを活用し、保護者に情報を配信している。地域の小学校や中学校と交流する事業を実施している。 （課題）ホームページがより魅力的になるように工夫する。部活動等のページも積極的に更新を行い、本校の魅力を引き続きアピールする。本年度の授業公開・保護者会は土曜日にし、保護者が参加しやすいように設定している。同日に学校説明会も予定しており、内容や時程についても検討する。	本校の良さを積極的に発信し、開かれた学校づくりを推進する。	①HPの更新を頻繁に行い、部活動の実績や学校行事についても、その内容をわかりやすく伝え、本校の魅力を積極的にアピールする。 ②メール配信システムを様々な場面に活用し、保護者に適切な情報提供を行う。 ③光陵祭、授業公開、公開講座等、外部に向けて行事の宣伝を積極的にを行い、保護者や地域の人々、中学生などの来校を促す。 ④地域との交流事業を積極的にを行い、地域との連携を深める。 ⑤学校説明会、中学校訪問、中学校や塾等での説明会など生徒募集活動を積極的に行う。	①②HPへのアクセス数は増加したか。メールを適切に配信したか。生徒・保護者の学校に対する満足度は上昇したか。 ③光陵祭、授業公開、公開講座等外部向け行事の参加者数は増加したか。関係者の評価は高かったか。 ④地域との交流事業を実施し、関係者の好評を得られたか。 ⑤各説明会を実施したか。参加人数は増加したか。本校の志願者数は増加したか。	メール配信システムへの登録を全校で促進し、適切に情報を提供できた。①②HPへのアクセス数は増加した。メール配信で荒天時の連絡もした。生徒・保護者の満足度は高い。③光陵祭は来場者が増加した。授業公開等は保護者会と同日の土曜であったため参加者が増加し高評価であった。授業は学校説明会参加者にも公開できた。④植水小との交流事業の他、学科や部活動でも地域と連携し事業を推進し好評を得た。⑤各説明会、中学校訪問等を積極的にを行い、志願者も増加している。	A

学校関係者評価		
実施日 令和2年2月5日		
学校関係者からの意見・要望・評価等		
論理的な思考力を伸ばすことは総合的な探究に結びつくものとして期待したい。授業を見学するとプロジェクターを使用しパワーポイントを用いた教材など様々な工夫をしており、生徒は生き生きと授業に取り組んでいるように見受けられる。手帳を利用する指導など、新たな時代に合った流れと思われる。		
学校自己評価アンケートの「補講等による取り組みの充実」の項目で、保護者と生徒の回答の隔たりが大きい。学校側から様々な説明会等で話をしている内容が親子で共有されるのは自然な流れである。e-Portfolioはこのまま使われ、今後は一層自己表現の力が試されると思われるので、現在の指導を続けてよいのではないかと。教員の持つ多くの情報をさらに提供してもらいたい。		
見学した音楽科の授業では、1学年と2学年の合同で合奏や合唱の練習が行われていて素晴らしい。美術科や書道科も授業に集中して作品に取り組んでおり、成果をあげている。留学生との交流行事では楽しそうに参加している様子が見え、互いにより刺激になっているようである。今後も学校全体の生徒により影響がもたらされることを期待したい。		
登校時にバスを下車した生徒が道路に広がって歩いているのは危険である。校内美化に関してはアンケートの指摘は残念であるが、築30年以上たっているので施設の老朽化はやむを得ない面もある。しかしながら清掃用具などに工夫をしているという取り組みはわかる。スマートフォンの使い方について生徒が主体となって取り組んでいるのはおもしろくその利便性と危険性について研究していくことに今後も期待する。		
HPには日々の生活の他、補講をはじめ進路情報などものせたらどうか。学年通信なども数多く発行しているので、その内容が保護者にも十分伝わるようにするとよいのではないかと。地域の避難所開設訓練や公民館の催しについては、今後も協力して継続的に実施していきたい。		

